



県政報告 県政を身近に

埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

令和6年
2024
秋季号

Vol.53

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

10月11日に埼玉県議会初の大学生との意見交換会を行いました。県議会は、国政や市町村議会と比べて住民の皆さんになじみが薄い感があります。今回大学生の皆さんから率直かつユニークな発想が飛び出し、いろいろ考えさせられました。

政治は決して遠い存在ではなく、様々な生活の場面が政治に直結しています。私たち議員ももっとそのことを住民の皆さんに伝え、県政を身近に感じてもらうよう努力しなければならないと改めて実感しました。これからも、皆さんからのご意見、ご要望をお寄せください。

《 県議会初の大学生との意見交換会を開催 》

県議会では、開かれた議会と幅広い皆様に県議会への理解を深めてもらうことを目的に、県議会史上初めて大学生との意見交換会を開催しました。今回の議論のテーマは、「若者と政治の距離をどう縮めるか、若者と政治離れについて」でした。今回は、9月定例会の開会中に、埼玉大学、立教大学、獨協大学の学生22名と県議会議員によりグループディスカッション形式で行いました。



こども・若者基本条例が成立～自民党議員団が提案～

本条例は、昨年6月に条例案作成のための団内にプロジェクトチームを立ち上げ、70団体以上の幅広い意見を聴取するとともに、県民コメントの意見も取り入れて策定されたものです。内容としては、社会全体で子育てを支え、子ども・若者の意見を県の施策に反映するため、子どもの権利保障と子育て支援について包括的な政策を掲げました。

具体的には、県に対し、市町村などと連携し、子育てにやさしい社会づくりについて県民が理解を深めるための施策を講じること。保護者、養育者の役割については、子どもの権利条約などの趣旨を踏まえて、子どもたちが健やかに成長し、自立した生活を営めるよう努めることとしました。

令和6年9月定例県議会(令和6年9月25日～10月16日)

今議会では、特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実や公共事業の追加などの補正予算のほか、特定再生資源保管業の規制に関する条例に係る手数料を定める条例など7件、川口北警察署新築工事など工事請負契約が4件の議案が承認されました。また、令和5年度会計に係る決算の認定2件は継続審査となりました。さらに、急施議案として提出された衆議院議員選挙に係る補正予算が承認されました。

また、自民党議員団から提出された「こども・若者基本条例」が可決、成立しました。

補正予算 50億1,156万円

1 県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実 ……7,153万円

スクールバスを利用できない医療的ケア児が福祉タクシー等を利用する場合に、看護師費用などの負担を軽減するための追加措置。

2 新生児マススクリーニング検査の対象拡大 ……1億4,139万円

国の実証事業に参加し、重症複合免疫不全症及び脊髄性筋萎縮症の2疾患を追加した検査の対象を県内医療機関（さいたま市を除く）で出生した新生児に拡大。

3 公共事業の追加、適正工期の確保 ……47億9,864万円

道路・街路事業：58か所
河川事業：11か所

衆議院議員選挙関連の補正予算

37億7,531万7千円

衆議院議員選挙が10月15日公示、10月27日投開票と決まったので、急施議案として選挙等に関する補正予算が提案され、承認されました。

- 衆議院議員総選挙に係る経費 ……37億3,103万3千円
- 最高裁判所裁判官国民審査に係る経費 ……4,428万4千円

朝霞児童相談所の新設

令和7年4月1日から朝霞児童相談所が開所されます。所管区域は川越児童相談所及び所沢児童相談所の所管区域を変更し、朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町になります。そのため児童相談所設置条例が一部改正されました。



工事請負契約の締結

(仮称) 川口北警察署新築工事
(履行期限：令和9年1月31日)

- 本体工事 ……22億1,100万円
- 電気設備工事 ……7億9,530万円
- 空調設備工事 ……4億7,300万円



県民コメントを募集しています>>>>

①「中小企業制度融資の損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例案」

県保証協会が金融機関に制度融資の代位弁済を行った場合、県は、法律等に基づいた再生計画が出されることを条件に、回収納付金を受け取る権利を放棄することができます。しかし現状では、県議会の議決が必要であり、企業再生のタイミングを失うことが考えられます。そこで、条例の制定により、議会の議決を経ずに知事が回収納付金を放棄できるとするものです。

この条例案は自民党議員団（事務局長：武内議員）が12月定例会での提案に向けて準備を進

めており、10月21日から11月20日までパブリックコメントを求めています。

②「拉致問題の早期解決に向けた施策の推進に関する条例案」

拉致問題を早期に解決するため、県の責務と県民の役割を定めるとともに、拉致問題に関する理解を増進し解決に向けた機運を醸成し、早期解決に資することを目的とした条例制定を目指しています。この条例案についても、同様の期間パブリックコメントを求めています。

提出先：埼玉県議会自由民主党議員団ホームページの専用フォームより投稿してください。



歩道の防草工事が始まる

交通安全や生活環境を保全するため、県道の雑草刈払いを毎年度実施しています。県では、年々上昇している労務単価等の影響にあって、限られた予算の中で除草回数・時期などの工夫により維持管理に努めていますが、雑草や街路樹の枝は容赦なく伸びて、車、歩行者双方の視界や歩行の安全性を損なっています。また、毎年、地元から雑草の刈払いの要望が出されている状態は、地元、町、県にとっても好ましくありません。さらに、維持管理の費用が永続的に発生することは、財政上も問題です。

武内県議は、この問題に関して平成28年9月の定例会において県に改善をするよう一般質問をしましたが、県土整備部長の答弁は積極的な内容ではありませんでした。その後、労務単価や材料費等の高騰を背景

に、県は令和5年度から道路の維持管理費を抑制するために、雑草を伐根しコンクリートで固めるなどの方法により、毎年の維持管理費用を削減する方向にシフトしました。ちなみに、飯能県土整備事務所における令和5年度の植樹帯管理、雑草刈払い費用は、約1億2千万円でした。

飯能県土整備事務所では、中央分離帯や通学路や県道に隣接する法面など「定期的に草刈りを実施している箇所」から繁茂する雑草を防止する防草工事を進めています。これにより歩行空間が広がり、歩道における見通し、歩行者の安全性の向上が期待されます。

今後も、順次工事が進むよう予算要望を行ってまいります。

施工事例 飯能寄居線バイパス (毛呂山町岩井陸橋)



施工事例 飯能寄居線バイパス (越生町西和田地内)



旧毛呂高跡地 建物 を残して売却へ

旧毛呂山高校の跡地について、本年4月から5月にかけて、県が更地にした場合の利活用をはじめ、事業者が建物を除去した場合、校地と既存の建物を利活用する場合などについて民間事業者から意見を募る「サウンディング型市場調査」を実施しました。2つの事業者から現在の建物を改修して学校、又は大学のスポーツ施設を整備するというアイデアが出されました。

これを踏まえ県教育委員会が今後の対応を検討した結果、建物を含めた利活用を望む事業者がいる可能性があることから、まずは現状のまま公売に付すことに決まりました。これにより、売買収入が得られるとともに、跡地の利活用が進むことになります。

地元毛呂山町にとっても、地域の活性化に資する施設整備が行われることは、望ましいことです。旧毛呂山高校跡地活用の問題は、武内県議が議員当選以来取り組んできましたが、引き続き、本件がより良い方向で進展するよう議員団としてもフォローしてまいります。

シェイクアウト訓練 の実施

県議会では昨年に続き、県内一斉に訓練を実施しました。448,330人の県民の皆さんが参加登録をされました。



▲毛呂山中学校で行われたシェイクアウト訓練

武内まさふみの活動日誌

■鳩山新町長の知事挨拶

(7月10日)

初当選した小川知也鳩山町長に同行し、大野知事に挨拶に伺いました。



▲知事と一緒に記念撮影

■瀬戸大也選手の応援パブリックビューイング

(7月28日～8月3日)

パリオリンピックの200m個人メドレー、400m個人メドレー水泳競技に出場した毛呂山町出身の瀬戸大也選手を地元の皆さんが応援しました。



▲毛呂山町東公民館にて

■赤い羽根共同募金の街頭活動

(10月1日)

浦和駅、大宮駅、川口駅において、県議会社会福祉推進議員連盟のメンバーが参加して街頭募金活動を行いました。



▲大宮駅西口にて

■防犯のまちづくり推進街頭活動

(10月11日)

県議会防犯のまちづくり推進議員連盟が主催し、知事、県議会議長の参加のもと防犯への意識啓発活動を行いました。



▲浦和駅東口にて

埼玉県議会 12月定例会のお知らせ

令和6年12月2日(月) から12月20日(金)までの開催予定。